



ペテロ後書

第一章

一 イエスキリストの僕また使徒なるシメオニペテロ、書を  
 を我らの神及び救主イエスキリストの義によりて我らと  
 二 同じ貴き信仰を受けたる者に贈る。願くは神及び我らの  
 主イエスを知るによりて恩恵と平安と汝らに増さんこと  
 を

三 キリストの神たる能力は、生命と敬虔とに係はる凡て  
 のものを我らに賜へり、これ已の栄光と徳とをもて召し給  
 四 へる者を我ら知るによりてなり。その栄光と徳とにより  
 て我らに貴き大なる約束を賜へり、是は汝らが世に在る徳

キリストの手にあるものによりてあり

一。是。おのれ

聖書改譯原稿用紙

五 の滅亡を逃れ、神の性質に與る者とならん為なり。この故  
 六 に勵み勉めてその信仰に徳を加へ、徳に知識を、知識に節  
 七 制に忍耐を、忍耐に敬虔を、敬虔に兄弟の愛を、兄弟の愛に  
 八 博愛を加へよ。此等のもの汝らの表にありて、増すとき  
 は、汝等われらの主イエスキリストを知に急ることなく、實  
 九 を結ばぬこと無きに至らん。此等のもの、無きは盲人に  
 十 して遠く見ること能はず、已が舊き罪を潔められし事を忘  
 了したるなり。この故に兄弟よ、ほしめて汝らの召さ  
 したることを、選ばれたることを堅うせよ、若し此等のことを  
 十一 行はば、躓くことなからん。斯て汝らは我らの主なる救主

エ

イエスキリストの永遠の國に入る恩恵を豊かに興へん。  
されば汝らは此等のことを知り、既に受けたる真理に

三

堅うせられたれど、我つねに此等のことを思ひ出させんと  
するなり。われは尚この幕屋に居る間、なんぢらに思ひ出

四

させて勵すを正當なりと思ふ。  
そは我らの主イエスキリストの我に示し給へるごとく、

五

わが幕屋を脱ぎ去ることの速かなるを知ればなり。我ま  
た汝らをして我が世を去らん後にも、常に此らのことを思

六

ひ出させんと勉むべし。我らは我らの主イエスキリスト  
の能力と来り給ふ事を汝らに告ぐるに巧なる造り譚を

七

用ひざりき、我らは親しくその稜威を見し者なり。是も貴  
き栄光の中より聲出で、こは我が愛しむ子なり、我これを

八

悦ぶと言ひ給へるとき、主は父なる神より尊貴と栄光とを  
受け給へり。我らも彼と偕に聖なる山に在りしとき、天よ

九

り出づる此の聲を聞けり。斯て我らが有てる預言の言は  
聖うせられたり。汝らこの言を暗き處にかやく燈火とし

十

て夜明け明星の汝らの心の中にいづるまで、顧みるは善し。  
なんぢら先づ知れ、聖書の預言はすべて已がまゝに解く

十一

べきものにあらず。預言は人の心より出でしにあらず  
人ぞ聖靈に動され、神により語れるものなり。

聖書改譯原稿用紙

ペテロ後書

寝  
が

一 されど民の中に偽預言起りき、其のごとく汝らの中に  
 偽教師あらん。彼らは滅亡にいたる異端を持ち入れ、己ら  
 買ひ給ひし主をさへ呑みて速かなる滅亡を招くなり。ま  
 二 多くの人がかれらの好色に従はん、之によりて眞の道はそ  
 三 しらるべし。彼らは貪慾によりて飾言を設け、汝らより利  
 四 をとらん、彼らの審判は往古より定められたれば遅からず、  
 五 その滅亡は覆ねず。神は罪を犯し、御使たちを赦さずし  
 六 て地獄に投げ入れ、之を黒闇の穴に置きて審判の時まで看  
 七 守し、また古き世を容さずして、たゞ義の宣傳者なるノア

聖書改譯原稿用紙

と他の七人とをのみ護り、敬虔ならぬ者の世に洪水を来ら  
 八 せ、またツドムとゴモラとの町を滅亡に定めて灰となし、  
 九 後の不敬虔を行ふ者の警とし、たゞ無法の者どもの好色  
 十 の舉動を憂へし正しき口トのみ救ひ給へり。一この正しき  
 十一 き人は彼らの中に住みて日その不法の行爲を見聞して己  
 十二 が正しき心を傷めたり。かく主は敬虔なる者を試煉の中  
 十三 より救ひまた正しからぬ者を審判の日まで看守して之を  
 十四 罰し、別けて肉にしたがひて、汚れたる情慾の中を歩み、權  
 十五 ある者を輕んずる者を罰することを知り給ふ。この後輩は  
 十六 膽太く放縱にして尊き者どもを誇りて畏れぬなり。御使

三 たちはかの尊き者どもに勝りて大なる権勢と能力とあれ  
 ども、彼らを主の御前に誇り訴ふることを為す。されど彼の  
 徒輩は、恰も捕へられ屠らるゝ為に生れたる辨別なき生物  
 のごとし、知らぬことを誇り、不義の價を得て必ず滅さるべ  
 し。彼らは晝しなほ酒食を快樂と爲し、誇惑を樂しみ、汝ら  
 と共に宴席に興りて汚點せなり、瑕瑾とある。その目は淫  
 婦にて満ち罪に飽くことなし、彼らは靈魂の定まらぬ者を  
 惑し、その心は貪慾に慣れて呪咀の子たり。彼らは正しき  
 道を離れて迷ひいびべオルの子バラムの道に従へり。バ  
 ラムは不義の報を愛して、その不法を咎められたり。物いは

五 ぬ驢馬、人の聲して語り、かの預言者の狂を止められたばなり。  
 六 この徒輩は水をき井なり、颯風に逐はるゝ雲、無務なり、黒き  
 闇かれらの為に備へられたり。彼らは変しき誇をかたり、  
 迷の中にある者等より辛うじて逃れたる者を肉の慾と好  
 色とを以て惑はし、之に自由を興ふることを約すれど自  
 らは滅亡の奴隷たり、敗くる者は勝つ者に奴隷とせらるれ  
 ばなり。彼等もし主なる救主イエスキリストを知るによ  
 りて世の汚をのがれし後、復これに累はれて敗くる時はそ  
 の後の状は前よりしなほ悪しくなるなり。義の道を知り  
 てその傳へられたる聖なる誠命を去り往かんよりは寧ろ

汚穢

勝り

三

義ぎの道みちを知らぬを優まされとす。但ことわざ諺わざに「犬いぬおのが吐はきたる物もの」  
 にかへ歸きたり來きたり、豚ぶた身みを洗あらひて復またた泥どろの中なかに轉あぶらと云いへるは真まこと  
 にして、能よく彼かれらに當あたれり。

聖書改譯原稿用紙

第三章

一

愛する者よ、われ今この第二の書を汝らに書き贈り、第一なると之を以て汝らに思ひ出させ、その潔よき心を勵

二

まし、聖なる預言者たちの預じめ云ひし言、および汝らの使徒たちの傳へし主なる救主の誠命を憶えさせんとす。

三

汝ら先づ知れ末の世には嘲ける者嘲笑をもつて来り、已が慾に従ひて歩み、かつ言はん、「主の來り給ふ約束は何処に

四

ありや、先祖たちの眠りしものち萬のものの開闢の初と齊しくして變らざるなり」と。彼らは殊更に次の事を知らざるなり、即ち古神の言によりて天あり、地は水より出で水により

五

り、即ち古神の言によりて天あり、地は水より出で水により

六

て成立ちしが、その明の世は之により水に淹れて滅びたり。されど同じ御言によりて今の天と地とは蓄へられ、火にて焼かれん為に敬虔ならぬ人々の審判と滅亡との日ま

七

で保たるゝなり。愛する者よ、汝らこの一事を忘るな。主の御前には一日は千年のごとく、千年は一日の如し。主その約束を果すに

八

遅きは、或人の遅しと思ふが如きにあらず、たゞ一人の亡ぶるをも望み給はず、衆の人の悔改に至らんことを望みて、汝

九

ら、其の日に天と地とあきて去り、もろくの天體は焼け崩

十

ん、其の日に天と地とあきて去り、もろくの天體は焼け崩

聖書改譯原稿用紙

智

五 地とその中にある工とは焼け盡きん。斯く此等のもの

六 はみち崩るべければ汝等いかに潔き行状と敬虔とを以て

七 神の日の來るを待ち之を速かにせんことを勉むべきに

八 あらずや、其の日には天燃え崩れもろくの天體焼け鎔け

九 新しき地とを待つ。 **義の** 任む所の新しき天と

十 此故に愛する者よ、汝等これを待てば神の前に汚點な

十一 く瑕瑾なく安然に在らんことを勉めよ。且われらの主の

十二 寛容を救なりと思へ、これは我らの愛する兄弟パウロもそ

十三 の與へられたる智慧に従ひ曾て汝らに書き贈りし如し。

聖書改譯原稿用紙

十四 彼はその凡ての書にも此等の事につきて語る、その中には

十五 悟り難き所あり、無学の者心の定まらぬ者は、他の聖書のこ

十六 とく之をも強ひ解きて自ら滅亡を招くなり。されば愛す

十七 る者よ、なんぢら預じめ之を知れば、慎みて無法の者の迷に

十八 さそはれて己が堅き心を失はず、ます我らの主なる

十九 救主イエスキリストの恩寵と主を知る知識とに進め、願く

二十 は今および永遠の日までも栄光彼に在らんことを。

釋